

仙台市議会は3月14日、総額で一般会計、過去最大規模の5,929億円の令和4年度予算が可決・成立しました。新年度予算には、新型コロナウイルス対策の費用などが盛り込まれています。また3月3日には「口シヤ」によるウクライナへの軍事侵襲に対する抗議に関する決議、予算等審査特別委員会においては高砂地区における冠水対策、次年度設計に入る福室小学校をはじめ今後の学校施設の在り方等に質疑をしました。

## 令和4年 第1回定例会 主な質疑

- ・新型コロナウイルスの影響を加味した人口予測の見直しについて (本会議一般質問)
- ・町内会向けまつり助成金の拡大、ICT支援、少子高齢化を見据えた町内会再編の準備 (本会議一般質問)
- ・今後の学校施設のビジョンの示し方 (本会議一般質問)
- ・市立高校におけるICT環境整備 (本会議一般質問)
- ・自治体の火葬場を利用した本市市民に対する補助の在り方 (予算等審査特別委員会/健康福祉費)
- ・津波避難広報、新浜地区の橋の架橋、県道亘理塩釜線渋滞対策等について (予算等審査特別委員会/土木費)
- ・今後の学校施設のビジョンの示し方 (予算等審査特別委員会/教育費)
- ・雨水排水対策について (予算等審査特別委員会/下水道事業費)

<録画映像>

一般質問

健康福祉費

土木費

教育費

下水道事業費



## 《岡田小学区の皆様へ》新浜地区の橋の架橋について (予算等審査特別委員会/土木費)【一部抜粋】

まずは、今年、震災11年目を迎えることになりましたが、海浜エリア活性化推進室が若林区役所に新設されるということですが、宮城野区の沿岸部からは、復興が若林区側に偏るのではないのかという心配の声があがっております。これにつきましても、宮城野区に担当課を配置するというところでございますが、偏りのないよう取り組んで頂きたいと思っております。

質問：宮城野区の新浜地区の件で伺います。震災前には海と行き来ができるように、2本の橋を越え海に渡っていましたが、その橋が津波で流されて以降、未だに2本とも再架橋に至っていない状況でございます。そこで、この沿岸部の橋の整備に關連した予算についてご説明願います。

宮城野区：質問がありました2本の橋の内、本市が管理しておりますのは市道益谷地砂山線の通称“やけっぱし”でございます。こちらは、令和2年度に予備設計を実施し、地域の皆様のご意見を踏まえ、架橋位置、橋梁タイプを決定したところでございます。今年度は測量、地質調査を行い橋梁の詳細な構造や施工方法を検討しております。令和4年度予算は橋梁本体、取付道路等、橋梁整備に必要な工事費として1億3,000万円を計上しております。

質問：震災後11年が経ち、やっと2本中の1本の工事が開始するわけでございます。しかし、内陸側からすると、手前の堀は渡れるようになりますが、奥の真山堀は渡れない状況、海に辿りつけそうに辿り着けない状況は変わらない。要は、次年度工事が始まる橋についても、もう1本の奥の橋を渡れないということでございます。2本の橋が完成して初めて海と行く事ができ、また海側から避難できるようにするわけでございますが、もう1本の橋の必要性について伺います。

宮城野区：ご質問のもう1本の橋ですが、民間事業者が設置したものと伺っておりますが、地域の皆様からのご要望もございまして、本市での整備にむけ予備設計を実施しました。その結果、多額の費用を要することが見込まれ、他の工法の検討も行いましたが費用の縮減にはつながらず、整備をすすめることが難しいという判断に至っております。しかしながら、海辺と内陸をつなぐルートへの確保は海浜エリア活性化の観点からも重要なものと認識しております。国や県、関係部局と連携を図りながら引き続き取り組んで参りたいと思っております。

## 海浜エリア活性化のため2本の橋の架橋が必要



新浜地区には重要な河川があるため、海に渡るには2本の橋が必要である。

令和4年度に架橋のための工事がはじまります。

海からの地産運搬のために2本の橋の架橋が必要

## 《福室小学区、田子小学区の皆様へ》今後の学校施設のビジョンの示し方 (予算等審査特別委員会/教育費)【一部抜粋】

質問：学校施設の改修・建替えについては、最大の効果を発揮するように対応して頂きたい。まず、改修・建替えを進めるにあたって重点的に求められる点につきお示しく下さい。

学校施設課：改修や建替えをすすめるにあたりましては、児童生徒が安心して充実した教育機会を得られるよう、学習機会の確保を第一にGIGAスクール構想に対する環境整備やバリアフリー化、さらには地域の方々との連携といった視点も踏まえる必要もあると考えております。

質問：その他にも脱炭素化、避難所機能の充実、公共施設の複合化も求められていく、さらには感染対策も改修・建替えに必要な項目だと思っております。それ以外に地域に事情に対応しなければならぬケースもございまして、そこで、水害常習地域の学校施設は水害対策も一体的に求められます。先ずは令和元年東日本台風において、うちの地元の子小でもエレベーターに浸水してエレベーターが機能しなくなっておりますが、このように浸水による被害があった学校施設をお示しください。そして学校施設における水害対策は完了済みなのか伺います。

学校施設課：田子小学校以外の学校ではエレベーターの故障や建物内への大規模浸水はありませんでした。田子小学校のエレベーターにつきましては修繕等、対策済みでございます。

質問：学校は地域の重要施設です。設計の前に地域と意見交換する必要があるが、ご見解を示していただくと、次年度、設計に入る市内学校施設をお示しください。学校施設課：学校施設の建替えに際しましては、学校の教職員や保護者、町内会役員等からなる建設委員会を設置し校舎や教室の配置等を定める基本設計の時点でご意見やご要望を頂き、それらを踏まえ設計に反映させることにしております。次年度設計を行う学校数ですが、増改築の基本設計が小学校2校、中学校1校、実施設計が小学校3校、中学校1校でございます。※増改築の基本設計の小学校2校中、1校が福室小学校になります。

## 福室小学校建替えまでの今後の予定について (順調に予算措置がされることが前提です。)

令和4年度 建設委員会を設置し、配置計画、平面計画を検討 (基本設計)  
令和5年度 工事に向けた詳細設計を行う (実施設計)

令和6年度 工事の実施

令和7年度

令和8年度 新校舎・新体育館の使用開始

令和9年度



(50年以上経過した福室小学校舎)

裏面は  
宮城野区の水  
排水対策



質問 水害常態地域の方は早期の整備を期待しており、本市は“抜本的な対策”を講じる優先整備地区を指定しております。先ずは“抜本的な対策”について具体的に説明してください。  
 下水道計画課 “抜本的な対策”はポンプ場や雨水幹線、雨水調整池等の貯留施設等を設備し、本市下水道の施設整備の基準である10年確立降雨において床上床下浸水を発生させないように対策することです。

質問 その“抜本的な対策”を含めて、雨水排水施設の整備に関する次年度の予算を近年の予算推移とあわせてお示しください。  
 下水道計画課 雨水排水施設整備に関する予算の推移は令和2年度17億9,800万円余り、令和3年度20億2,100万円余り、令和4年度28億2,200万円余りを計上しております。

質問 既に“抜本的な対策”の“整備中”の3地区をお示し頂き、次年度の予定をお示し頂くのと、少しでも早まらないかという声も出ております。それぞれの対策の完了時期をお示しください  
 下水道計画課 “抜本的な対策”に着手した地区は仙台駅西口地区、福室排水区の白鳥・高砂地区、原町東部排水区の日の出町・扇町の3地区となっております。仙台駅西口地区は令和7年度末の完成を予定しております。白鳥・高砂地区につきましては、令和4年度は西原雨水ポンプ場の増設工事を進め令和9年度末の供用開始を予定しております。日の出町、扇町地区につきましては、令和4年度より扇町1丁目公園の地下への調整池整備に着手するなどし、令和5年度末の完成を目指しております。

質問 末だに新たに抜本的な対策をお示し頂けない地区が10地区ございますが、このような地区についての次年度の取り組みをお示しください。  
 下水道計画課 現在、地区の特性や制約条件等に合わせ、下水道施設以外の雨水排水施設を加えた浸水シミュレーション解析を進めるなど、効果的、効果的な対策手法の立案を行っているところがございます。これらの地区におきましては対策案をお示しながら、順次、設計や工事に着手できるように、取り組みを進めてまいります。

質問 未整備の地区ですが、工事に着手する事、整備完了時期を示して頂く事を、整備完了時期を予定通り令和7年度迄という事で変更はないのか。田子、仙石、福住町の地区の次年度の取り組み予定は。  
 下水道計画課 予定通り令和7年度までに計画の策定や詳細設計、工事に着手することとしております。現在、農業施設等の機能もふまえた効率的、効果的な抜本的な対策施設の検討を実施しているところがございます。この整備には時間を要することから段階的な整備もすすめることとしており、境掘樋門ゲートの電動化や道路側溝の改修事業を実施し、浸水被害の軽減を図ってまいります。

質問 水害から地域を守ることに公共施設が貢献する取り組みが全国的にも増えてきております。市の取り組みについて伺います。  
 下水道計画課 令和4年度には日の出町1丁目地区の浸水被害軽減対策として公園内に地下式雨水調整池の工事に着手することとしております。今後も調整池を設置することが効率的、効果的と見込まれる地区につきましては、学校や公園などの公共施設用地を活用した整備に取り組みで参ります。

質問 浸水被害を軽減するための土のうステーションについて利用実績、次年度の拡大の詳細、また周知方法を伺います。  
 下水道調整課 土のうステーションの利用実績につきましては、平成27年度の運用から、約2万袋のご利用がございました。設置場所は下水道南北の管理センターの他、各区総合支所、コミュニティセンター等で運用しており、令和4年度には田子や六郷の市民センター、沖野や西中田のコミュニティセンターの4カ所において新たに運用を開始する予定でございます。広報につきましては、市ホームページや区役所等でのチラシの配付、市政だよりに掲載の他、地域懇談会等においても広くお知らせしております。

質問 最後に担当の高橋副市長に伺います。水害常習地区の方へメッセージを頂ければと思っています。  
 高橋副市長 豪雨による浸水被害は市民の皆様の生活をはじめ市内の広範囲にわたって甚大な被害をもたらしました。近年の被害も踏まえ、さらなる浸水対策の強化を図ることにいたしました。優先的に整備をすすめる地区を定め、下水道による根幹的な施設整備をすすめております。先ほど事業費をお示ししましたが、徐々に増やしていきたいという実情もございます。また、短期間で効果が期待できる局所的な浸水対策という部分も取り込んで進めております。今後こうした対策を着実にすすめるため国の補助制度を活用し総合的な雨水対策を推進し、一日でも早く市民の皆様の不安を解消できますよう全庁一丸となって取り組んで参ります。

### 〇令和7年度までに抜本的な対策に着手する13地区

区	地区	算日本台風時床上浸水件数	工事着手時期	整備完了時期
宮城野区	白鳥、高砂(福室排水区)	197	整備中	令和9年度末
	日の出町、扇町(扇町東部排水区)	89	整備中	令和5年度末
	各地區、面割山7丁目、8丁目	152	令和7年度迄	未定
若林区	若林、古城	66	令和7年度迄	未定
	仙石、福住町、田子	63	令和7年度迄	未定
	仙台駅西口	39	整備中	令和7年度末
青葉区	仙石、幸町	33	令和7年度迄	未定
	宮町	21	令和7年度迄	未定
	若林区	17	令和7年度迄	未定
宮城野区	白鳥調整池	8	令和7年度迄	未定
	仙台駅西口	14	令和7年度迄	未定
	東山、八木	5	令和7年度迄	未定
青葉区	上郷子	0	令和7年度迄	未定

